

平成26年6月23日  
北海道旅客鉄道株式会社  
日本貨物鉄道株式会社

## 江差線 札苅駅構内における貨物列車の脱線について

平成26年6月22日 4時15分頃に発生した江差線 札苅駅構内における貨物列車の脱線事故の概況、復旧作業と今後の運転再開については以下の通りです。

1. 発生日時 平成26年6月22日 4時15分頃
2. 発生箇所 江差線 札苅駅構内
3. 関係列車 第7066列車  
(6月21日 札幌貨物ターミナル駅 22時22分発、宇都宮貨物ターミナル駅行)
4. 列車編成 機関車1両、コンテナ貨車20両
5. 脱線車両 コンテナ貨車 コキ107-87

### 6. 概況

- ・4時15分頃、江差線札苅駅構内を走行中、非常ブレーキが動作して、列車が停車しました。その後、運転士が列車を点検したところコンテナ貨車の後ろから2両目貨車の後部2軸が脱線し、この貨車と一番後ろの貨車1両が、およそ17m分離している状態を発見しました。
- ・その後の調査により、江差線 泉沢駅～札苅駅間33k174m（札苅駅から五稜郭方面へ約1kmの位置）から脱線痕が続いていることが判明しました。
- ・原因については運輸安全委員会が調査中です。
- ・この事故による怪我人はありません。

### 7. 脱線事故の復旧作業について

- ①6月22日14時05分 貨車のつり上げに使用する70トンクレーンを脱線箇所周辺に入れる足場をつくるため、鋼板50枚の敷設を開始。17時05分頃終了。
- ②19時43分 運輸安全委員会からの現場保全命令解除を受け、復旧作業に着手。
- ③22時10分 70トンクレーンによるつり上げ作業を行うため、車両が停止している箇所の架線を移設。
- ④22時45分 クレーンを使い脱線車両のコンテナを降ろし、その後、脱線した貨車の載線作業を実施。
- ⑤3時37分 貨車の木古内駅への移動が終了。
- ⑥6月23日4時00分 札苅駅構内の破損した転轍機の復旧作業を終了。
- ⑦損傷したPCマクラギ約550本を交換するため、道内各地のPCマクラギを現地へ運搬。現地にPCマクラギが到着し、できるところから順次、交換作業を実施。マクラギ交換は21時頃から開始し、10時現在で約440本が終了。
- ⑧13時05分すべてのマクラギ交換が完了。その後、線路つき固め作業、信号設備の復旧、踏切敷板の補修などの作業を実施。また、作業終了後に確認列車を運行。
- ⑨現在のところ、本日（6月23日）21時過ぎを目処に復旧作業を終了する予定。

## 8. 今後の運転再開について

現在、運輸安全委員会による事故原因の調査が行われていますが、現時点において事故原因が明らかでないことから、運輸安全委員会による調査結果が出るまでの間、北海道旅客鉄道株式会社として当面の対策を実施し、運転を再開します。

(対策内容の詳細はJR北海道ホームページをご参照ください)

なお、現在のところ、旅客列車については本日（6月23日）札幌駅・青森駅間を運転する「急行はまなす」から、貨物列車については上り6092列車、下り2051列車から運転再開を予定しております。